苫小牧市中小企業者サポートブック　掲載事業

資料３

事業番号	事業名	R9年度（2027年度）目標設定			実績			※三つの柱				R7年度	担当課
		R9年度目標についての考え方	R9目標値	単位	R5年度	R6年度	R7年度	評価	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	評価理由（具体的に）	
1-1	防災出前講座・BCP策定支援事業	企業・団体を対象とした防災出前講座(BCP含む)の受講者数	200	人	200	283	304	A	○	○		目標値を上回る利用があり、市内中小企業者等の防災意識の向上につなげることができました。	危機管理室
1-2	苫小牧市立地企業サポート事業	申請事業者への補助金交付件数	65	事業所	61	68	63	B			○	一定程度の補助金申請があり、市内企業の雇用機会の創出や労働環境の改善につながっていることから「B」としました。	工業雇用政策課
1-3	苫小牧イノベーション活性化事業補助金	補助事業数	6	件	5	4	3	B	○	○	○	市内産業の活性化につながる取組に対し補助金を交付しており、市内企業の課題解決や新技術の導入に寄与していると考えられますが、申請件数が減少しているため「B」としました。	工業雇用政策課
1-4	先端設備等導入計画	認定件数（変更計画を含む。）	20	件	13	25	20	A			○	先端設備等導入計画を認定することにより、生産性の向上につながる設備投資を着実に促していることから「A」としました。	工業雇用政策課 資産税課
1-5	中小企業振興計画推進事業	中小企業振興を図るためのセミナー等の参加人数	100	人	65	67	116	A		○		目標値を上回る利用があり、中小企業振興の一助となっています。今後もより実用性の高い事業となるよう、セミナーの内容や回数について協議しながら進めてまいります。	商業振興課
1-6	苫小牧市事業承継推進事業	事業承継（第三者承継）を行った経営者へ給付金を給付した件数	3	件	5	2	2	B	○			目標値には達しないものの、近年は問い合わせが増加傾向にあり事業承継の一助となっています。一件一件のマッチングには満たすべき対象要件が多く、今後も関係機関との連携が不可欠となります。	商業振興課
2-1	苫小牧市企業立地振興条例に基づく助成金	助成金交付件数	20	事業所	23	19	18	B	○	○		目標値には達しないものの、新規立地企業に対し設備投資等に対する補助を行うことができました。 今後も新規立地につながるよう内容の改善を検討し、多くの企業に利用してもらえるよう周知に励んでいきます。	企業港湾政策課
2-2	苫小牧市中小企業創業サポート事業	創業セミナー受講後、新規創業された数（市の補助活用件数）	40	人	23	21	22	B	○			目標値には達しないものの、創業の計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫してフォローを行いました。	商業振興課
3-1	奨学金返還支援事業	奨学金返還支援制度登録者数	30	人	33	34	39	A		○		登録者数は目標値を達成しており、人口減少の抑制に寄与していることから「A」としました。	政策推進課
3-2	苫小牧UIJターン新規就業支援事業	移住就業数4名、移住起業者数1名の累計	5	人	起業1	就業2	就業1	B	○	○		継続的な相談対応や実績があり、本制度がUIJターンによる就業・起業の促進に一定の役割を果たしていることから「B」としました。	政策推進課 工業雇用政策課
3-3	市内大学インターンシップ支援事業	有償インターンシップ参加学生数	35	人	27	12	7	B		○		インターンシップ参加学生数は減少傾向にありますが、本事業を通じて市内企業への就職が実現するなどの成果があったことから「B」としました。（企業インターンシップ受入支援事業への事業統合により、令和7年度で本事業は終了）	政策推進課
3-4	介護職員就業支援事業	介護職員研修費等補助事業の活用人数	50	人	37	36	38	B		○		目標値には届かなかったものの、例年一定数の活用があることから、より利用しやすい事業となるよう事業内容の精査や周知等に取り組みます。なお、令和8年度からは対象となる研修の種類を増加しています。	介護福祉課
3-5	ジョブコーチ養成研修助成事業	苫小牧市福祉のまちづくり推進計画における令和8年度目標が累計14人となっていることから、年間2人の増加を見込み、16人とした。16人を5年で割り返し単年の目標値とした。	3	人	4	3	3	A		○		助成件数は3件となり目標値に到達しました。今後も障がいのある方を支援する人材を増やしていくため、事業に努めてまいります。	障がい福祉課
3-6	障がい者雇用奨励金事業	交付人数	10	人	0	5	7	B		○		令和7年度から要件を見直したことにより給付実績は7件と増加傾向にあることから「B」としました。	工業雇用政策課
3-7	中小企業人材育成補助金	研修受講人数（補助金交付件数）	35	人	15	42	37	A	○	○	○	中小企業の事業継続・発展のためには人材育成が必要不可欠であり、受講料の補助により、人材育成にかかる企業の負担軽減につながっていると考えられるため「A」としました。	工業雇用政策課

苫小牧市中小企業者サポートブック　掲載事業

資料３

事業番号	事業名	R9年度(2027年度)目標設定			実績			※三つの柱				R7年度	担当課
		R9年度目標についての考え方	R9目標値	単位	R5年度	R6年度	R7年度	評価	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	評価理由(具体的に)	
3-8	なでしこ就職応援事業	就職者数	40	人	34	26	22	A		○		受講者や女性を雇用したい企業のニーズに応じた研修を実施しており、女性の就職及び職場定着に寄与していると考えられるため「A」としました。	工業雇用政策課
3-9	就職マッチング支援事業	掲載企業数(累計)　※実績の()内数値は単年度増減の合計	500	件	596(82)	713(103)	799(86)	A		○		登録者数・登録企業数ともに年々増加しており、市内求人に特化した唯一の求人情報サイトとして多くの方にご利用いただいていることから「A」としました。	工業雇用政策課
3-10	ものづくり技能習得奨励金	奨励金支給件数	10	件	4	4	7	B		○		奨励金により入校に要する費用の負担軽減を図り、入校促進が図られていますが、新規入校生が伸び悩んでいることから「B」としました。	工業雇用政策課
3-11	採用力強化・機会創出事業	支援企業数	15	社	15	15	15	B		○		新卒採用に向けた個別コンサルティングにより、企業の採用力の向上につながっていますが、売り手市場を背景に採用人数が伸び悩んでいるため「B」としました。	工業雇用政策課
3-12	中途採用合同就職説明会事業	参加企業数	45	社	40	40	45	A		○		即戦力となる人材を求め中途採用を希望する企業と、正規雇用を目指す求職者のマッチングにつながっていることから「A」としました。	工業雇用政策課
3-13	外国人材受入企業支援事業	支援企業数	10	社	－	1	2	B		○		利用件数は目標に届きませんでしたが、外国人材とのコミュニケーションの円滑化や企業における日本語学習の支援につながっていると考えられるため「B」としました。	工業雇用政策課
3-14	みんなの就活応援事業	就職者数	22	人	－	－	23	A		○		就労経験の少ない若年層や就職氷河期世代などの人材育成・技術向上のため、技能講習や職場体験を実施しており、早期就職と職場定着に寄与していると考えられるため、「A」としました。	工業雇用政策課
3-15	苫小牧市課題解決型インターンシップ事業(令和7年度単年度事業)	受入企業数	6	社	－	－	3	A		○		市内企業の課題解決を目的とした1か月以上の長期インターンシップを実施し、インターン生と企業が相互に成長する機会となったと考えられるため、「A」としました。	工業雇用政策課
4-1	合理的配慮の提供を支援する助成事業	苫小牧市福祉のまちづくり推進計画における令和8年度目標が年間6件となっており、予算額等も鑑み同様の6件とした。	6	件	3	2	4	B			○	助成件数4件(手すり設置、筆談ボード・車いす購入など)であり目標値には届かなかったが、合理的配慮の提供を行いやすい環境づくりにつながったことから「B」と評価した。	障がい福祉課
4-2	事業所内保育事業及び企業主導型保育事業相談	相談体制を維持していきます。※保育施設が充分に確保されてきたことからも、相談件数が減少している状況。数値目標とすることが難しいため、現状の相談体制を維持することを目標とした。	なし	―	3	0	0	B		○		相談件数は0件だったものの、相談受入体制を維持できていたため。	こども政策課
4-3	受動喫煙防止対策事業	数値目標は定めておらず、常時申請を受け付けています。 予算計上値を目標値とした	1	事業所	0	0	0	B		○		助成金の申請はありませんでしたが、苫小牧市空気もおいしい施設の認定数は増加しており、本市の受動喫煙対策が進んでいると判断できることから、評価を「B」としました。	健康づくり課
4-4	飲食店全面禁煙化補助金	数値目標は定めておらず、常時申請を受け付けています。 予算計上値を目標値とした	2	店舗	0	0	0	B			○	助成金の申請はありませんでしたが、苫小牧市空気もおいしい施設の認定数は増加しており、本市の受動喫煙対策が進んでいると判断できることから、評価を「B」としました。	健康づくり課
4-5	ゲートキーパー養成講座(企業向け)	企業向けのゲートキーパー養成講座を実施した回数	1	回	2	2	2	A		○		ゲートキーパー養成講座の基礎編(新規企業向け)と継続編(講座受講歴のある企業)を各1回実施し、働く世代のこころの健康についての知識や対応方法を学ぶ機会を作ることができたため、評価を「A」としました。	健康づくり課
4-6	苫小牧市空気もおいしい施設認定事業	苫小牧市健康増進計画において、令和10年度までに認定施設数100施設を目指しており、令和6年度末時点での認定施設数が71施設のため、残りの施設数を4年で割り返した数を目標としました。	10	施設	1	25	3	B			○	苫小牧市健康増進計画における令和10年度の目標数100施設に向けて、順調に認定数が増えているため、評価を「B」としました。	健康づくり課
4-7	健康経営優良法人企業表彰	苫小牧市健康増進計画において、令和10年度までに認定企業数50社を目指しているため。	50	社	33	35	43	A			○	苫小牧市健康増進計画における令和10年度の目標数50社に向けて、順調に企業数が増加しており、その中でも上位企業(ホワイト500、ブライト500、ネクストブライト1000)の認定件数も同様に増加していることから、評価を「A」としました。	健康づくり課

苫小牧市中小企業者サポートブック　掲載事業

資料３

事業番号	事業名	R9年度(2027年度)目標設定			実績			※三つの柱				R7年度	担当課
		R9年度目標についての考え方	R9目標値	単位	R5年度	R6年度	R7年度	評価	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	評価理由(具体的に)	
4-8	職場改善コンサルティング事業	職場改善事業所数(個別支援実施企業数)	60	件	51	50	50	B		○		目標値には届きませんでしたが、企業の個々の課題や悩みに応じたコンサルティング支援や研修会の開催により、職場環境の改善が図られ人材定着につながっているため「B」としました。	工業雇用政策課
4-9	苫小牧市勤労者共済センター補助金	加入事業所数　※()内は単年度実績、0表記は増減がマイナスの場合	450	事業所	455(0)	449(0)	437(0)	B		○		中小・小規模事業者などの福利厚生の充実に寄与していますが、加入事業所が年々減少しているため「B」としました。	工業雇用政策課
5-1	苫小牧市観光PR推進事業補助金	特産品等を販売する事業者に対する補助事業件数	18	件	5	8	16	A			○	目標値を上回る利用がありました。特に大阪万博にてチーム苫小牧として市外イベントに出展したことで観光振興事業として効果的でした。 今後もより実用性の高い事業となるように、特産品認定事業者に対して改めて情報発信を行ってまいります。	観光政策課
5-2	苫小牧市イベント・環境整備等助成事業	商店街への助成件数(第一次苫小牧市中小企業振興計画期間の平均利用件数)	20	件	18	29	20	A			○	目標値どおりの利用があり、商店街の担当者と顔を合わせ、問い合わせに丁寧に対応することで、事業の認知度が上がり、継続的な事業の利用につなげることができました。	商業振興課
5-3	苫小牧市内空き店舗活用事業	空き店舗活用件数(市の補助活用件数)	7	件	17	13	8	A	○			目標値を上回る利用があり、HP等での事業の広報のほか、問い合わせに丁寧に対応することで、事業の認知度が上がり、事業を必要としている事業者からの申請につなげることができました。	商業振興課
5-4	苫小牧市店舗改装費補助事業	店舗改装に対する補助件数	10	件	0	6	7	B			○	目標値には達しないものの、一定程度の問い合わせがあることから、より利用しやすい事業となるよう必要な見直しを視野に入れて取り組んでまいります。	商業振興課
6-1	とまなか産業発展・創出事業	技術相談件数	70	件	72	66	63	B	○	○	○	C-baseを拠点に企業の課題解決や共同研究や製品開発などに繋げていくことで、企業の技術力の向上・高度化が図られているため「B」としました。	工業雇用政策課
6-2	設備機器の利用開放	H30年度～R4年度における機器利用の平均を参考として、目標件数を設定	608	件	584	611	473	B	○	○	○	目標値には届きませんでしたが、一定程度の中小企業者等の方々に利用していただいたことから、概ね効果があったと考えます。	テクノセンター
6-3	依頼試験	H30年度～R4年度における依頼試験の平均を参考として、目標件数を設定	698	件	2445	3688	2430	A	○		○	目標値を大幅に上回る利用があり、中小企業者等の技術力向上などに大きな効果があったと考えます。	テクノセンター
6-4	技術相談	R2年度及びR3年度における実績値(技術相談・技術指導の合計)の平均を参考として、目標件数を設定	70	件	65	77	75	A	○	○	○	目標値を上回る利用があり、中小企業者等の技術的課題の解決などに効果があったと考えます。	テクノセンター
6-5	技術指導	R2年度及びR3年度における実績値(技術相談・技術指導の合計)の平均を参考として、目標件数を設定	15	件	25	26	15	A	○	○	○	目標値を上回る利用があり、中小企業者等の技術的課題の解決などに効果があったと考えます。	テクノセンター
6-6	研修会・講習会の開催	R2年度及びR2年度における実績値(研修会の合計)の平均を参考として、目標件数を設定	10	回	11	6	6	B	○	○		目標値には届きませんでしたが、一定程度の中小企業者等の方々に利用していただいたことから、概ね効果があったと考えます。	テクノセンター
6-7	新入社員・中堅技術者向け常設研修会の開催	R2年度及びR2年度における実績値(研修会の合計)の平均を参考として、目標件数を設定	35	回	33	35	40	A		○		目標値を上回る利用があり、中小企業者等の技術力向上などに効果があったと考えます。	テクノセンター
7-1	苫小牧市ゼロカーボンハウス促進補助金	個人住宅への補助件数	235	件	322	304	282	A			○	市内事業者による施工や市内事業者からの設備購入を要件としたことで、地元事業者の育成が図られた。	ゼロカーボン推進室 脱炭素先行地域推進担当
7-2	苫小牧市クーリングシェルターの指定	数値目標は定めておらず、常時申請を受け付けています。	-	箇所	-	10	36	A			○	目標数は定めておりませんが、令和7年度末時点での指定施設数が36か所となり、本市の熱中症対策に寄与していると判断できることから、評価を「A」としました。	健康づくり課

苫小牧市中小企業者サポートブック　掲載事業

資料３

事業番号	事業名	R9年度(2027年度)目標設定			実績			※三つの柱				R7年度	担当課
		R9年度目標についての考え方	R9目標値	単位	R5年度	R6年度	R7年度	評価	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	評価理由(具体的に)	
7-3	苫小牧市住宅耐震･リフォーム支援事業	リフォーム支援事業補助実績件数	80	件	80	80	79	A			○	予算枠に達する補助受付があり、地場産業の活性化に大きく貢献したことです。	住まい支援課
7-4	ゼロカーボン支援コンサルティング事業	支援件数	25	件	26	25	25	A			○	市内中小企業が抱えるGX推進に対する様々な課題(財政的な負担や情報･知識･人材面でのリソース不足など)の解決に寄与していることから「A」としました。	工業雇用政策課
8-1	小規模企業経営改善資金	小規模事業経営改善資金による融資件数	115	件	182	136	114	A	○		○	ほぼ目標値どおりの利用があり、市内小規模企業者等の資金需要に対応することができました。	商業振興課
8-2	中小企業振興資金	中小企業振興資金による融資件数	40	件	58	55	54	A	○		○	目標値を上回る利用があり、市内中小企業者等の資金需要に対応することができました。	商業振興課
8-3	店舗近代化設備資金	店舗近代化設備資金による融資件数	2	件	1	1	0	B	○		○	令和7年度の利用実績はありませんでしたが、令和7年度から貸付期間を15年から20年に延長し利用しやすい制度となるよう見直しを図りました。	商業振興課
8-4	中小企業機械等購入資金	中小企業機械等購入資金による融資件数	2	件	0	0	1	B	○		○	融資件数0件が続いていましたが、金融機関と連携し制度の利用向上に努めた結果、利用につながりました。	商業振興課
8-5	中小企業環境保全施設資金	中小企業環境保全施設資金による融資件数	1	件	0	0	1	A	○		○	融資件数0件が続いていましたが、令和7年度より信用保証料補給の対象に含めるなど金融機関と連携し制度の利用向上に努めた結果、利用につながりました。	商業振興課
8-6	小規模企業経営改善資金信用保証料の補給	小規模企業経営改善資金等信用保証料の補給件数	115	件	136	98	97	B	○		○	目標値には達しないものの、市内小規模企業者に広く活用していただきました。	商業振興課

A				**目標値を上回る効果があった**
B				**目標値には届かなかったが、概ね効果があった**
C				**目標値には届かなく、効果も一部限定的であった**
D				**目標値には届かなく、期待されたレベルに達しておらず効果が見られない**

※中小企業振興のための三つの柱
Ⅰ:創業及び事業承継の推進　Ⅱ:人材確保及び人材育成の強化　Ⅲ:事業継続のための経営基盤の強化・販路拡大の推進

中小企業支援策の実施状況(事業評価)

年度	A評価	B評価	C評価	A･B評価割合
令和5年度	※評価なし	※評価なし	※評価なし	**20/52事業(38.5%)が目標値を達成**
令和6年度	27/51事業(52.9%)	18/51事業(35.3%)	6/51事業(11.8%)	**45/51事業(88.2%)**
令和7年度	27/53事業(50.9%)	26/53事業(49.1%)	0/53事業(0%)	**53/53事業(100%)**

多くの事業で目標を達成、または概ね目標どおりの成果が得られました。
第二次中小企業振興計画に基づく各種支援施策は、一定の成果を上げたものと考えられます。

※令和5年度はA～C評価を実施していないため、目標値達成事業数を記載。